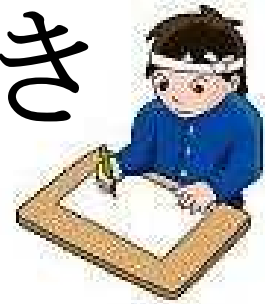


学習の手引き



「授業の受け方」

と

「家庭学習のアドバイス」



船橋市立船橋中学校

1年 組 番

氏名

「学問に王道無し」

四月に入学して、いよいよ中学校の学習が始まります。何のために学習をするのでしょうか。実は、学習をするとよいことが沢山あるのです。

- 学習することで、知らないことが理解でき、ますます学習が楽しくなる。
- 学習することで、将来の選択肢が広がる。
- 学習することで、自分の考えが持てるようになる。…等々。

皆さんの人生の可能性が、学習をするのとしらないのとでは大きく違ってきてしまいます。だから、日本では7歳から15歳まで学校に通って勉強をすることになっているのです。(義務教育)

特に、中学校の学習の先には、進路選択という大きな目標があります。人はそれぞれ顔や性格が違うように、興味・関心・能力にも違いがあります。誰もが、一流のスポーツ選手や科学者になれるわけではありません。だからこそ、中学校で9教科の学習をすることにより、自分の持っているいろいろな力を知ることが大切なのです。つまり、中学校を卒業するときに自分にあった道を見つけるために勉強をすることです。せっかく能力があるのに、いい加減な学習をして、自分の本当の力を知ることができないのは、もったいないと思いませんか。学習すべき時にしっかり学習し、自分を知り、自分の道を見つけてください。

最後に、中学校での学習方法には、いろいろなやり方があります。ただ、これが一番いい方法だというものは残念ながらありません。これも、人それぞれ違うので、本書を参考にして自分にあった学習方法を見つけてください。

学習のポイント

これは、成績を上げるための先輩からのアドバイスです。

- ① 授業の忘れ物をしない。
- ② 授業を大切にす。
- ③ 毎日復習をする。(家庭学習をする。)

この先輩は部活動に参加して、定期テストでは400点以上(500点満点中)をとっています。

中学校の部活動は、朝、放課後だけでなく、休日にも練習があり、時間的に余裕がなくなります。だからこそ、効果的に勉強をしなければ成績を上げることは難しくなります。

中学校での5～6時間の授業を大切にす、皆さんが充実した中学校生活を送れることを願っています。

1 船橋中学校の1日の学習

① 授業の約束

学習のきまり

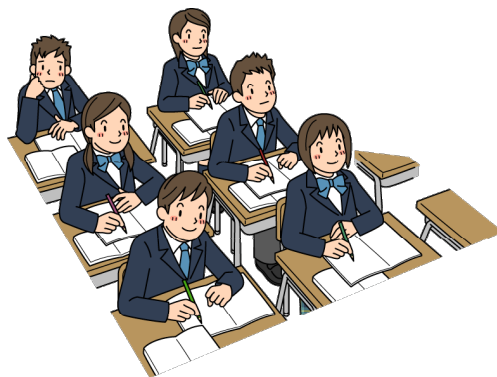
- ① チャイム着席をしよう。
- ② 学習の準備をして授業にのぞもう。

学習の心得

- ① チャイムと同時に学習を始めよう。
- ② 人の話をしっかり聞こう。
- ③ 自分の考えを持とう。

上の「学習のきまり」と「学習の心得」は、船橋中学校での授業での各教科共通の最低限守るべきことです。教室にも掲示してあるので、いつも心にとめて学習に取り組んでください。

きちんと守れるように、学習委員が中心となり、呼びかけなどを行うので、みんなで協力しましょう。



② 船中タイム

船橋中学校では、朝 8 : 20 ~ 8 : 30 を船中タイムと呼び、読書と基礎的な内容の勉強をします。8 : 20 のチャイムの鳴る前に読書の準備をします。読む本は漫画、雑誌、教科書以外で自分の興味ある本を読みます。

朝、一番に読む本なので一日のスタートにふさわしい本を読むと、きっとその日が良い一日になるでしょう。自分で買った本でも良いし、図書館や図書室で借りた本でも構いません。

一年間で大きく成長できるような時間にしてほしいものです。



基礎的な内容の勉強は、定期テスト前に実施し、国語の漢字、英語の単語を覚え、数学の基本的な問題を行う時間になります。10分間集中して取り組めば、基礎的な力が身につくでしょう。基礎学習を行った週の最後に、確認テストがあります。そのテストで60点を取れない場合、放課後補習を行うこととなります。学校の一番の目的は「勉強をすること」と心得、基本的な力をしっかりと身につけましょう。

2 船橋中学校のテスト



小学校との大きな違いの一つに定期テストがあります。定期テストは1年に4回あり、授業で学習した内容が出題されます。従って、授業での取り組みの様子、授業内容の理解度が試されるテストであり、この結果が中学校の成績に大きくひびきます。定期テスト前の3日間は、部活動や委員会活動等校内の生徒活動は全て中止となります。ただし、テスト勉強でわからないことを先生方に質問できる、「質問タイム」という時間も同時に

設けているので、質問のある生徒は有効に利用してほしいと思います。また、テスト2週間前には、テスト範囲が発表され、学習計画を立てることとなります。学習計画を立てることも、テスト勉強の一環と考え、取り組んでほしいと思います。そして、実行し、反省し、次回につなげるというサイクルをつくれると良いと思います。頑張ってください。

国語家庭学習の基本5か条

- その1 漢字・語句の学習は少しずつでも毎日続けよう。
- その2 文章に慣れるため、教科書は声を出してくり返し読もう。
- その3 作文の力をつけるために、めんどうがらずに文を書こう。
- その4 わからないことばをそのままにしないように、こまめに辞書を引こう。
- その5 演習問題に積極的に取り組み、自分の力を伸ばそう。

授業の受け方のポイント

- 一つ チャイムが鳴ったら、すぐ漢字練習
学習用具はチャイムが鳴る前に用意しておこう。
- 二つ 先生や友だちの話や意見を確実に聞き取る。
自分の思いこみで聞かないようにしよう。
- 三つ 板書をノートにしっかりと書く。
板書を書くのはノートづくりの最低限。縦書きで！
- 四つ 積極的に発言する。
自分から！が大事。学習も楽しくなるよ。
- 五つ 音読のときには大きな声で！
教室にいる全員に聞こえるように読もう。
- 六つ 「話し合い」学習には積極的に参加し、自分の意見を述べる。
お客様にならないで！
- 七つ 提出物は期限までに必ず提出する。
提出物には早めに計画的に取りかかろう。
- 八つ 遠慮せずに質問する。
わからないことをそのままにしないように。



ノート整理

ノート整理は頭の中の整理です。どこに何が書いてあるのか、どこに大事なことがまとめてあるのかなど、わかりやすいノートづくりをしましょう。プリント類もノートにはって、きちんと保管しましょう。

社 会

◆なぜ社会を学ぶのか…？



みなさんは、社会の授業が好きですか？

「暗記が苦手だから…」 「覚えることが多くて…」 そんな風に苦手意識を持っている人も少なくないと思います。もちろん、教科書の太字で書かれているような重要語句は覚えてもらいたいと思っています。それは、社会に限らず、どの授業でも、どんなことでも言えることだと

思います。

さて、ではなぜ社会を学ぶのでしょうか。社会は、もともと「人が社会で生きていくための考え方を身につける教科」と言われています。社会とは、「考え方」を学ぶ教科なのです。

たとえば、歴史の中で「〇〇年、△△が□□をした」ことが必ずしも大切なのではなく、「〇〇年、△△が□□をしたのは“なぜなのか”」、「□□をしたことで“社会にはどんな影響が出たのか”」、このように考えることができることが大切なのです。

また、地理分野では、

ド イ ツ：氷河によって侵食された土壌 → 農業に不向き → 工業が発達 → …

鹿児島県：火山灰によって覆われた土壌 → 稲作に不向き → 畜産業が発達 → …

というように、どういう原因・経緯があって、今があるのかを知ることは大切なことだと思います。

社会の学習を通して、自分のまわりの物事に目を向け、将来社会で生きていくために必要な考え方を身につけていきましょう！

◆学習用具

①教科書…1、2年生では地理・歴史、3年生では歴史と公民の学習をします。

②ノート…横書きのものを使用します。

わかりやすくまとめるために、赤・青・緑の3色のペンを用意しましょう。

③資料集…授業で補助的、発展的に使います。

使ったページをノートにメモしておきましょう。

④地図帳…地理や歴史の授業で使います。

地名が出てきたときには積極的に活用しましょう。

⑤ワーク…家庭学習や、テスト前の学習に活用しましょう。



◆授業の受け方のポイント

①チャイム着席を守ろう

→学習用具はチャイムが鳴る前に用意しておこう。忘れ物もないように！

②板書をノートにしっかり書こう

→ノートは授業の大切な記録です。黒板に書かれていることは最低限書きましょう。

③話をよく聞き、積極的に発言しよう

→学ぼうとする前向きさを大切に。授業を大切にする人は必ず力を伸ばせます！

④「話し合い」活動に積極的に参加し、自分の意見を述べよう

→話し合ったり、他の人の意見を聞いたりすることで、さらに自分の考えを深めることができます。

⑤提出物の期限を守ろう

→定期テスト時に【ノート・ワーク・テスト直し】を集めます。ワークは、間違えたところを中心に、繰り返し解き直しましょう。

⑥ニュースや新聞に目を通し、世の中のことに目を向けよう

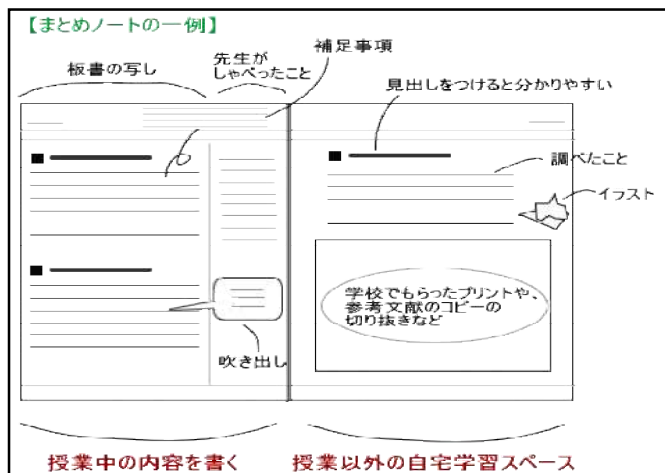
→地理は特色、歴史は流れ、公民はしくみを学びます。世の中の出来事に関心を向け、「なぜ？」「どうして？」と考える習慣をつけましょう。きっと授業がもっと楽しくなるはず…！

⑦家庭学習に取り組もう！

→授業のあった日に、ノートや教科書を眺めるだけでも、知識は定着しやすくなります。時間を見つけて、教科書や地図帳、ノートを開いてみることから始め、家庭で机に向かう週刊をつけていきましょう。

◆ノートづくりのポイント

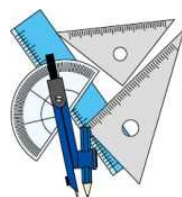
ノートは、授業の大切な記録です。板書を写すだけでなく、授業中に気づいたことや考えたこと、おもしろいと思ったことなどを積極的にメモするようにしましょう。また、授業のあった日にもう一度ノートを開き、簡単におさらいしておくだけで、頭の中が整理されます。復習を大切にしましょう。



数 学

学習の手引き

授業の受け方



授業の前に・・・

- ・何を学習するのか、見通しを持って授業に臨もう

授業中には・・・

- ・先生の話や友達の意見をしっかり聞こう
- ・課題や先生の質問に、まず自分の力で考えよう
- ・自分の考えを、人にわかるように書いたり説明したりしてみよう
- ・自分の考えを、積極的に発表しよう
- ・他の人の考えや意見を参考にして、さらに自分で考えてみよう
- ・一つの考えで満足せず、他の解き方はないか考えるようにしよう
- ・黒板に書かれたことは、ノートにしっかりまとめよう
- ・授業でわかったことや大事なことは、工夫してノートにまとめよう
- ・わからないことや理解できないことがあったら、先生や周りの人に質問しよう

ノートのポイントは・・・

- ・字は大きめに丁寧に書き、ゆとりをもってページを使おう
- ・色ペンを使って、ポイントがわかるようにまとめよう
- ・後で見直したときのことを考えて、分かりやすくまとめよう
- ・練習問題は、答だけでなく途中の過程も必ず書こう
- ・間違えた問題は、消さずに残し、脇に必ず書き直しをしよう

授業が終わったら・・・

- ・授業のようすを自己評価して、次の授業に生かそう
- ・習ったことは、その日のうちに見直しをしよう
- ・授業の進度に合わせて、自分からワークを進めよう

家庭学習の仕方



良い習慣を・・・

- ・落ち着いて学習できる場所を決めよう
- ・テレビを見ながら・・・などせず、勉強に集中できるようにしよう
- ・なるべく毎日決まった時間に学習しよう
- ・少ない時間でも、毎日続ける習慣をつくらう

宿題がある時は・・・

- ・宿題があるときは、まず宿題から始めよう
- ・宿題や課題は、家で必ず終わらせよう
- ・分からない問題があったら、次の日に先生や友達に聞こう
- ・分からない問題を聞くときは、答ではなく解き方やその理由を教わろう
- ・教わったら、必ず自分でもう一度解いてみよう

授業の内容の復習を・・・

- ・授業で習ったことは、その日のうちに見直そう
- ・授業で解いた問題を、もう一度解いてみよう
- ・わからなかったら、教科書の例題やノートの記録を見て、解き方を確認しよう

復習や反復練習を・・・

- ・授業の進み具合に合わせて、問題練習に取り組もう
- ・問題練習をしたらなるべく早く答合わせをしよう
- ・間違っていたらすぐに見直しをして、どんな間違いをしたか気付こう
- ・間違った問題の見直しをしたら、必ず正しい方法で書き直しをしよう
- ・間違った問題はチェックをしておき、あとでもう一度解いてみよう
- ・わからないことがあったら、早めに質問しよう

次の授業の予習を・・・

- ・余裕があれば、教科書を見て次の授業の内容を知っておこう
- ・予習では、わかることとよくわからないことを知ろう
- ・予習でよくわからなかったことについて、次の授業で身につけよう

理科

授業中は・・・

家庭学習では・・・

- 1, 話をよく聞く。
- 2, ノートをとる。
- 3, 発表する。

- 1, ノートをまとめる
- 2, 問題集をとく
- 3, 興味がでたら調べる
- 4, ニュースに敏感になる

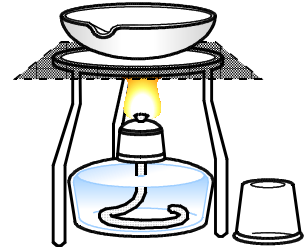


ノートの使い方

- 1, ノートの整理は頭の整理になる。
- 2, 自分のために書く。
- 3, 課題をノートの上書き、囲む。
- 4, 予想・方法・結果・考察と順を追って書く。
- 5, 予想と考察は、自分の言葉で書き表す。
- 6, 結果は表やグラフを使うとわかりやすい。

＜＜実験・観察でのポイント＞＞

- 1, 自分から進んで取り組む。
 - ・ 班での実験、観察が多くなると思います。
 - ・ 自分でやるのが、一番の勉強です。
 - ・ 人任せにせずに、積極的に取り組もう。



- 2, 安全に注意する。
 - ・ 危険な実験もたくさんあります。
 - ・ 必ず、先生が安全に実験をする方法を説明します。しっかり聞いて取り組もう。
(万が一に備え立って実験する等)
 - ・ 安全に実験する身だしなみ(髪・袖等)を心がけよう。
- 3, 机の上の整理、整頓をする。
 - ・ 机の上が乱雑だと、失敗をしてしまいます。
事故が起こることをあります。
 - ・ 実験をする時は、机の上の必要な物以外をおくのはやめよう。

＜＜実験・観察レポートの書き方＞＞

- 1, 目的 ・・ 何のために実験、観察をするかを書く。
- 2, 予想 ・・ どんな結果がでるかを含めて今まで学習した内容を使い予想する。
- 3, 準備 ・・ どんな器具を使うか、使い方について確認をする。
- 4, 方法 ・・ 操作の手順を順番にまとめる。
特に、安全面等で気をつけることを書いてあると良い。
- 5, 結果 ・・ 方法にそって分かりやすくまとめる。
- 6, 考察 ・・ 結果からわかったことや疑問に感じたことを自分の言葉で書く。
- 7, まとめ ・・ 先生の説明を聞いて、実験でわかったことをまとめる。

英 語

1 授業の受け方のポイント

(準備)

- ・ 忘れ物をしない。
- ・ チャイムが鳴る前に、学習用具は準備する。
- ・ 時計を見て、チャイムが鳴る3分前に座る。
- ・ 各自、着席した人からチャイム学習を始める。

(授業中)

- ・ 積極的に声を出して発音練習をする。
- ・ 英語の歌は、元気よく大きな声で歌う。
- ・ 話し手の英語を確実に聞き取れるよう、集中して話を聞く。
- ・ コミュニケーション活動は、男女問わず積極的に取り組む。
- ・ 授業でところは線を引いたり、メモを取ったりする。
- ・ 習ったことは、できるだけその場で覚えられるよう、日本語を使わず、英語を使う。
- ・ 板書された内容を丁寧な字で、確実にノートに写す。
- ・ 覚えた英語は、どんどん使ってみる。
- ・ 間違いを恐れずに積極的に発表する。(他の人の間違いを笑わない)
- ・ わからないことは先生に自分から質問したり、友達に聞いたりする。
- ・ プリントはファイルに綴じたり、ノートに貼ったりして無くさないようにする。

(視野を広げよう)

- ・ 他の人の考えや、外国の文化・生活習慣を尊重しよう。
- ・ 世界の様々な問題について、自分の考えを持とう。
- ・ 自分の国の良さを知っておこう。

(テスト後)

- ・ テストは必ず、英語ファイルに保管しておく。
- ・ テスト直しなどで、間違えた問題をやり直して、復習をする。

2 家庭学習

(予習)

- ・ 授業の前に、教科書の本文を本文ノートに写しておく。
- ・ 新しい単語や熟語は、英和辞典や教科書の後ろのミニ辞典で意味を調べて、本文ノートに書いておく。

(復習)

- ・ 授業で習ったページを10回以上音読する。
- ・ 習ったページの日本語訳をノートに書く。
- ・ 新しく習った単語や熟語をきちんと発音できるようにし、書いて覚える。
- ・ ワークを解き、文型や大事な表現の復習をする。

(テスト前にまとめて解くのではなく、日頃からこつこつと自分の力で解くこと)

- ・ 提出課題は必ず期限を守り、全員が提出すること。

3 持ち物

- ・ 教科書
 - ・ ノート
 - ・ ワーク
- ※ノートは2冊用意するようにしましょう。
1冊・・・教科書用(本文ノート)
1冊・・・家庭学習用(練習用)ノート

・ 学校用ノートの例(詳細は担当の先生に聞きましょう)

— 見開きで使う —

| | |
|----------------------|-------|
| Lesson 1A 本 文 | 本文の意味 |
| 単 語 | 板書を写す |

音楽科学習の決まり

♪ 持ち物

- ・教科書、ノート、コーラスフェスティバル、ソプラノリコーダー、筆記用具
鍵盤ハーモニカ（※持っている人だけでいいですが、クラス合奏、合唱練習等で使用するので、あった方が 좋습니다。）

♪ 授業を受けるにあたって

- ・忘れ物はしないこと。
- ・チャイム着席をすること。チャイムと同時に教科リーダーの指示のもと忘れ物チェックをする。
- ・「音」を大切にすること。美しい音と、雑音は違います。音楽の授業中は「音」に敏感になり、耳を澄ましておくこと。

- ★家庭学習としての課題はありませんが、授業内でのワークシートや楽譜への書き込みは評価の対象になるので、授業内に終わらなかった人は家で取り組むなどして必ず提出するように心がけましょう。
- ★自分の好きな音楽をたくさん聴いて生活を豊かにしてください。

♪ 授業の評価方法について

- ・普段の授業態度
(授業態度と表現への積極性、忘れ物、チャイム着席、発表内容、自己評価カード)
- ・感想カード、プリント記述内容
- ・実技テスト（歌唱・器楽）



♪ 音楽について

音楽の授業では、仲間と声を合わせて合唱や合奏をしたり、演奏したりします。音楽の歴史は永く、深いものです。中には、日本人や世界の人々が何千年、何百年の時を超えて大切に伝えてきた作品もあります。その尊さをたくさん感じ、味わい、感性を育てていってください。また、授業でベースになるのは表現活動です。自分自身を表現をすることはこの先の人生でとても必要になります。自分の声は世界で一つのもの。人間は声や表情で相手とコミュニケーションをとりますから、表現する喜びをたくさん味わいながら表現力を高めていきましょう。そして、仲間と創り上げる合唱の素晴らしさをたくさん感じてください。

船橋中の卒業生や先輩方が1000人の合唱の伝統を築き、引き継いでくれています。その伝統を超えるような誇りの持てる合唱を、音楽活動を目指し、一緒に創り上げていきましょう。



美術の授業について

<目標>

- ①自己表現 自分の考えたこと、想いを素直な心で、のびのびと表現する。
- ②観る目 自分の作品・友達の作品の良い所、面白いところを見つける目を育てる。

美術の授業では、色々な作品を見たり、制作したりする中で「面白い!」「美しいなあ」「次はこんなことをやってみたい!」と色々な発見や挑戦をしてもらいたいと思います。自分の作品を一生懸命制作したことで得られる達成感や、友達の素晴らしい作品に感動し、新たな発見をすることは、とても楽しく大切なことです。特別な才能や、センスが必要なわけではありません。センスや技術は日々の経験の中で、少しずつ積み上げていくことができます。

是非、美術の授業を通して、自分を表現することの楽しさを学んでください。そして、生活の中にあるアートや美術を、見つける目を育てていきましょう。

<授業について>

(1) 授業の準備

- ①絶対に忘れ物をしないように、前日に持ち物の準備をする。
- ②授業開始に遅れないように、すばやくシャージに着替えて移動する。
- ③忘れ物をした時は、授業始まりの「忘れ物チェック」の時に、教科リーダーに申し出る。

(2) 持ち物

①絵具類

パレット、水入れ、筆、雑巾2枚(筆拭き用・掃除用)

アクリル絵の具、紙パレット、スケッチブック(授業で配布)

②美術用文房具

鉛筆(HB~4Bのうち2本)、定規(折り畳みではないもの)消しゴム、はさみ、のり、ネームペン、色鉛筆 ☆持ち物にはすべて名前を書きましょう!

(3) 授業の流れ

- ①チャイム・挨拶「よろしくお願いします」
- ②教科リーダーの忘れ物チェック(忘れ物をした人は手をあげる)
- ③授業の説明を聞く→授業開始
- ④授業終了の10~5分前から片付け開始
- ⑤チャイム・挨拶「ありがとうございました」→移動
- ⑥教科リーダー「今日の評価をお願いします」「次回の持ち物は？」

(4) 授業への取り組み方

- ①忘れ物をしない。
- ②授業の始めと終わりには、姿勢を正し大きな声で気持ちのよい挨拶をしよう。「よろしくお願いします!」「ありがとうございました!」
- ③先生の説明はしっかり聞こう。

- ④おしゃべりをせず、自分の作品制作に集中しよう。
- ⑤いろいろな技法や材料を工夫して制作しよう。どんどん相談してみよう。
- ⑥次のクラスが気持ちよく使えるよう、片づけをしっかりとしよう。
机の上や周囲のごみを拾い、絵の具などで汚した場合は濡らした雑巾で拭こう。
- ⑦見通しを持って制作し、期限までに作品を提出しよう。

<毎日の学習について>

自分が良いと思うものや場所にふれ、美しさや感動を味わってください。

常日頃、情報収集をしていると、何かを表現したいと思ったときに、その手段が使えます。

- 教科書を読む。
- 身近なものをスケッチする。
- 美術館、博物館、動植物園で本物を見る。
- 美術書や写真集、芸術関係の番組を見る。
- 構図を考えながら写真を撮る。
- 自然物や作品を観察、鑑賞し、感じたことをレポートや作品で表現する。また、それを話し合ってみる。

苦手な人・基礎を固めたい人

- 持ち帰ってよいと許可が出た場合は家で制作する。
※必ず次の授業で持ってくる。
- 自分が好きな物や好きな場所を見つけ、観察する。
- 手紙やノートなどにイラストを描く。
- 友人同士で普段と違う服のコーディネートをする。
- 色を意識しながら部屋の模様替えをしてみる。

得意な人・応用力をつけたい人

- 毎日、短時間デッサンをする。
- 既製品のデザイン、実用性を意識して見る。
- ホームセンターや画材店などで道具や材料がどんなところで使われているのを見て、実際に触れたり使用したりしてみる。
- ある分野で使用されている道具や器具を、別の用途に出来ないか考えてみる。
- ひらめいたものをスケッチや工作で制作してみる。
- 公募ガイドなどで作品展を調べ、積極的に出品する
- 色彩検定やカラーコーディネーター、美術検定試験を受ける。

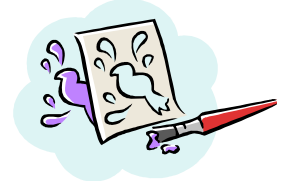
<千葉県の美術館、博物館、動植物園>

- | | |
|-----------|-------------|
| 千葉県立美術館 | 千葉市美術館 |
| 佐倉市立美術館 | 川村記念美術館 |
| 千葉県立中央博物館 | 千葉県房総のむら など |



<教科リーダーの仕事>

- ①前の授業が終わったら、素早く移動するように声をかける。
「早く着替えて移動してください」
- ②チャイムが鳴る前に座らせ、チャイム着席ができなかった人を、教科リーダーファイルにチェックする。
- ③全員が作業を止め、姿勢を正していることを確認して、開始の号令をかける。
「これから美術の授業を始めます。気をつけ、礼」
- ④忘れ物チェックをする。
「忘れ物をした人は、手をあげてください」
- ⑤授業中、おしゃべりなどがあった時には注意する。
「静かにしてください」
- ⑥先生から片付けの指示があったら、片づけをして道具の点検、席の周りにゴミなどが落ちていないかチェックする。
「片づけを始めてください」
- ⑦全員が席に着き、姿勢を正していることを確認して、終了の号令をかける。
「これで美術の授業を終わりにします。気をつけ、礼」
- ⑧一人は机の整頓、もう一人は授業の評価と、次の持ち物を聞きに行く。
「授業評価をお願いします。次回の持ち物はなんですか」



☆一人一人が意識して行動し、充実した美術の授業になるよう頑張りましょう！

保健体育学習の決まり

1. 服装について

- ①ジャージ・体操服を着用する。(必ず記名し、友達のもの間違えないようにしよう。)
- ②靴下を履く。白の無地でくるぶしやアキレス腱を保護できるもの。(ワンポイントは可)
- ③体操服はズボンの中に入れ、ズボンは下げない。
- ④ジャージのファスナーは、名前より上、袖からしっかりと手を出す。
(袖から手を出さないと、転んだときに大きなケガをしてしまいます。)
- ⑤部活動のシャツ・セーター・トレーナー等は着ない。
- ⑥装飾物は身に付けない。
(ミサンガ・ネックウォーマー・カチューシャ・大きなピン等) →安全のために！
- ⑦肩に掛かる髪の毛はゴムで縛る。(ゴムの色は、黒・紺・茶等の地味な色)
- ⑧ハチマキをする。(首に掛ける等は危険なのでやめましょう。)
- ⑨真冬の寒い時には、手袋の着用を認める。
(派手でなく指の部分が分かれていて、活動の妨げにならないもの。軍手が望ましい。)
- ⑩長ジャージと半袖・短パンの時期。(衣替え6月～10月の期間は半袖・短パンとするが、担当の先生の指示を仰ぐこと)
※着用しなければならない理由がある場合は、教科担任に申し出る。

2. 持ち物

- ①体育実技教科書 ②ファイル ③筆記用具
- ④保健の教科書・学習ノート



3. 見学する時

- ①生徒手帳に理由を書き、保護者に印鑑を押してもらったものを朝の会で担任に見せ、担任のサインをもらい体育の時間に提出する。
- ②ジャージに着替えてできる範囲で授業に参加する。
- ③学校で具合が悪くなった場合は、保健の先生に指示を聞いて保健体育の先生に伝える。状況によっては保健委員が伝える。

4. テストについて

- ①各種目において実技テストを実施する。種目ごとの技能ポイントをしっかりと押さえ、時間を有効に使って練習するようにしよう。
- ②年間に2回の定期試験(筆記)が行われる。試験前には教科書をよく読み、各単元についての知識を身につけること。また、保健学習ノートの問題を各自進めよう。
- ③日頃から、スポーツ・保健分野に関するニュースなどには関心をもって目を通しておこう。

5. その他 (担当の先生から何かあればメモしておこう。)

技術科

1. 技術・家庭科の学習とは…

中学校で新しく加わった教科です。生活を楽しく豊かにしていくために必要な基礎的な知識や技術を学習します。

ものづくりやコンピュータの学習を通して、技術がわたしたちの生活や社会でどのように役立ち、どのような役割を果たしているのかを考えていきます。

2. 授業の準備

- (1) 持ち物は、教科書、筆記用具、A4サイズのノート、長ジャージ上下、のり（プリントを貼るために使用します。）
- (2) 教科書、ノートは教室に置いて良いものです。
- (3) 教室は木工室です。（南館、2F奥から1Fに下った場所）
- (4) 黒板に板書されていたら、すぐに書き始めます。

3. 授業の取り組み

- (1) 刃物や機械を使う作業になります。ふざけていたり、話をきいていなかったりと、**大きな事故やけがにつながります。授業に集中しましょう。**
- (2) 班で仕事を分担します。一人一人責任を持って取り組みましょう。
- (3) 材料や工具、教室にあるものはていねいに扱い、目的以外のことに使用してはいけません。事故やけがにつながります。

4. ノートの使い方

- (1) 毎時間、自己評価票を配布します。授業の初めに板書されている課題を書き、授業後は反省を記入します。
- (2) ノート1ページの上には自己評価票を1枚、その下には板書を書いたり授業プリントを貼ったりします。
- (3) プリントは重ねて貼ったり、折って貼ったりしないでください。

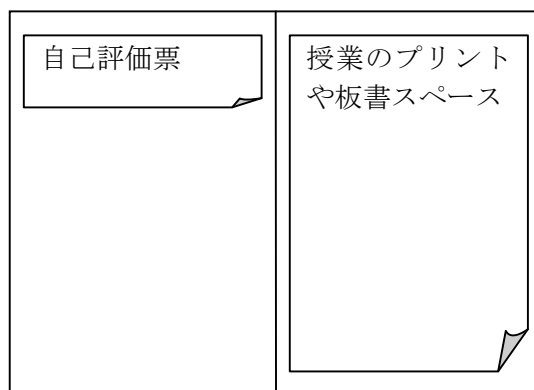
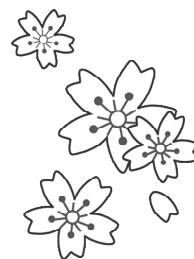


図1 ノートの使い方の例

5 家庭学習について

- (1) 「こんなものがあると便利だな」「こんな工夫があれば使いやすいだろうな」ということを日常生活の中で見つけてメモをしたり、スケッチをしておきましょう。デザインが形になっていく楽しさを味わってほしいです。
- (2) もちろん授業で身につけたものを生活に生かしていくことも大事です。知識的なことは定期テストにも出題します。教科書やノートを見返しておくこと。そして、目で学び、耳で学び、手で学ぶことを身につけていきましょう。

技術・家庭【家庭分野】



① 家庭分野の学習

家庭科で目指すものとは…

生活の中で困ったことやつらいことがあったとき、
それらに 真剣に向き合い、解決する力をつける こと！

② 準備

＜持ち物＞ 毎時間：教科書、ノート※、筆記用具、のり

その都度：色えんぴつ、エプロン、三角巾、食器用ふきん、裁縫道具 など

※ノートは、B5サイズより一回り大きいノートを配布します。

＜服装＞（基本的に）教室での授業・調理実習 → 制服
製作実習（被服室）→ ジャージ

③ 授業について

＜場所＞ 家庭科は実習ばかりの授業ではありません。

内容によって【教室での学習(座学)、調理室・被服室での実習、図書室での調べ学習】などがあります。

＜班活動＞ 班活動においては、役割分担をします。

自分の仕事はきっちり、責任をもって取り組みましょう。

＜連絡＞ 場所の移動や、提出課題（宿題）、持ち物についてなど、連絡はしっかり聞いておきましょう。忘れ物は厳禁です。

＜道具＞ 学校の施設や物をみんなで使います。自分のものと同じように、次に使う人のことを考えて、大事に、丁寧に使いましょう。

＜学習評価シート＞

毎時間の学習をふり返し、反省や自己評価をするためのものです。

しっかりと記入し、忘れずに毎時間提出しましょう。



④ 評価

授業態度、実習の取り組み、作品の出来、自分なりに考えた工夫、テストなどから成績をつけます。毎時間の学習を大切にして、がんばりましょう！

⑤ 家庭学習について

日頃から家庭で手伝いを心がけ、試験前には教科書やノートを復習しましょう。